

中野スプリング株式会社

150年の歴史が育んだ板バネ技術で  
新分野の開拓と海外進出を図る

明治維新から間もない時期に板バネづくりを始め、いまでは大型トラックから鉄道、産業機械、住宅用制震バネまで作り提供しているメーカーがある。こだわり続けた歴史の中から生まれた技術で、新規開拓の挑戦が続いている。



中野スプリング株式会社 代表取締役社長 中野隆平 (なかの・りゅうへい)

1876年に東京芝新堀（現芝浦）に人力車用スプリングの製造工場を設立し創業した中野スプリング。以来、150年近く板バネの補修品やOEM部品をトレーラーやトラック向けに供給してきた老舗メーカーである。同社は2016年に代表取締役就任した中野隆平氏の下で「新たな成長機会を見いだす」ための改革を進行中だ。

「この状況で10〜20年後まで会社を維持させるのは大変難しい。早急な打開策が求められた」と語る中野社長は、大学卒業後、トヨタ自動車やメルセデス・ベンツで幅広く自動車ビジネスに携わってきた。その経験を活かしてまず取りかかったのは社員の世代交代だ。同社の最大の強みは、長い歴史の中で培った高い技術力と顧客の要望に柔軟に対応できる製品開発力、さらには少量多品種・短納期という高効率の生産体制を整えていることだ。この点は経験の厚い年齢層の高い社員が守ってきた。



50年ぶりにフルリノベーションした本社ビル。

社員の世代交代を進め  
豊かな発想力を活かす

ところが、年齢層の高い社員の貢献度が高い反面、例えば新分野の開発に欠かせない若手社員の意見や豊かな発想が認められにくい状態であった。そこで進めたのがシニア層から若い社員への技術の伝承と世代交代だ。

とはいえ、会社を動かす上ではコアな部分で知見を持った人材は不可欠。営業は叩き上げの社員を昇格させ、工場長や技術開発には外部から人材を招き指導を得て、新分野にトライしている。

次に進めたのが、新たな市場の開拓だ。国内外の展示会に出展し

知名度を高めつつビジネスチャンスを伺い、2018年にはトラックやトレーラー需要の多い九州に拠点を開設。同年ステムコ社（現インフィニティ社）やGoodyearエアスプリングの輸入総代理店契約を締結。さらに2021年には、いすゞ自動車と海外市場向け補修専用部品のサプライヤー契約を締結するという「離れ業」を立て続けにやっつてのけ、同社の信用を一気に高めた。

「海外市場も、部品商社に頼りきることを止め、市場をより深く知るために自らが現地バイヤーと接しニーズの把握に努めました。その結果、エアスプリングが主流と見ていた欧米でもリーフスプリングの需要がまだ高いことがわかりました。また、コロナ禍もコンタクトをとり続けた豪州のバイヤー

とのビジネスも広がってきている」と積極的な営業活動で海外市場の更なる開拓を目指す考えだ。さらには築50年を迎えた本社ビルのフルリノベーションとテナント募集による不動産の有効活用も改革の一環として行われた。

職人技で動く昭島工場から多くの分野にカスタム製品提供

同社の拠点は本社及び東京、大阪、札幌、仙台、福岡、東京・昭島の工場は年間2000tの生産



くし歯成形機でリーフの反り(キャンパー)を調整。

「2018年にこのインフィニティ社の前身のステムコ社と、ディストリビューター契約を締結。日本唯一の輸入総代理店として、日本市場向け製品の輸入・販売を行っていたが、この代理店契約は同社が新たなビジネスを苦勞の末に獲得したということのみならず、「Goodyearが代理店契約を結ぶほどの信用力と技術力を持った会社」として、中野スプリングの社名を広め、社員が自社に誇りを持つ大きな機会、転機となった。

能力を持つ。加工から熱処理、成型、組立、塗装、品質検査までを一貫した管理体制で、多種多様な高品質な製品を生み出す。主な製品はトラック・トレーラー用のほか、鉄道車両・特殊車輛向けや4×4車両向けリーフスプリング、工場・事業所に採用される防振ばね、住宅用の制震ばね、さらには大手キャンピングカービルダーと足回りの共同開発も行っている。幅広い分野に製品を提供している。「当社はこだわりある職人技と技術で支えられている部分が大いですが、大いにやりがいのある職場だと

ね、住宅用の制震ばね、さらには大手キャンピングカービルダーと足回りの共同開発も行っている。幅広い分野に製品を提供している。「当社はこだわりある職人技と技術で支えられている部分が大いですが、大いにやりがいのある職場だと

TOPICS

Goodyear製品の絆で信用力と技術力を高める



世界3大タイヤメーカーの1つであるGoodyearの、トラック・トレーラー向けエアスプリング生産部門が独立してできた会社がインフィニティ社。全世界で年間約250万本もの高性能・高品質なエアスプリングを提供している。



多品種でも効率的に生産されるリーフスプリング。

思います。社員が最後まで働いて良かったと思える会社になりたい」と中野社長は話す。

目標は年商100億円。「決して絵に描いた餅ではなく、ビジネスチャンスがあればM&Aも考えてみたい」と意欲を示す。

Profile Data

中野スプリング株式会社

所在地 東京都港区芝浦4-11-17

電話 03-3451-3920

設立 1876年(明治9年)

事業内容 リーフスプリングの製造・販売等

https://www.nakano-sp.co.jp